

第11回風工学シンポジウム開催のお知らせと発表論文の募集について

〔主旨〕 構造物の耐風性など風工学に関する気象・土木・建築・電気・環境などの各分野における、その発展に大きく寄与する研究成果と技術の交流を目的として、表記のシンポジウムを下記により開催することになりました。発表論文をふるってご応募下さいますようご案内いたします。

〔共催〕 日本学術会議災害工学研究連絡委員会風工学専門委員会、土木学会（幹事学協会）、日本気象学会、日本建築学会、日本鋼構造協会、電気学会、日本風工学会

1. 開催期日：1990年12月6日（木）、7日（金）
2. 会場：中央大学理工学部 5号館（東京都文京区春日 1-13-27）

3. 発表論文の募集：

1. 課題は以下のとおりものとする。
 - (a) 自然風の性質、(b) 環境と自然風、(c) 風災害、(d) 風圧・空気力および構造物の周りの流れ、(e) 風による構造物の応答およびその制御、(f) 耐風設計、(g) 計測方法・風洞実験法
2. 応募論文原稿
 - 1) フルペーパーによる査読が行われる。採否の判定の基準は査読つきの専門学術誌・技術誌（例えば、共催学協会の論文集）と同程度とする。例えば、次のような場合は否と判定される。
 - ①内容の質が上記のレベルに達していない場合
 - ②内容が理解困難であるほど表現が拙劣な場合
 - ③内容が風工学の対象とする範囲から著しく逸脱していると考えられる場合
 - ④同じ内容の論文がすでに他誌に発表されている場合（ただし、例えば、会社技報、学会大会などの概要集は除く）
 - ⑤修正事項が多い、あるいは内容の本質に係わる

もので、査読者が最終論文に責任が持てない場合

- 2) ページ数は6ページ以内（英文概要などを含む）の偶数ページとする。
 - 3) 英文論文も可とする。
 - 4) タイプあるいはワープロなどによってオフセット印刷完成原稿（フルペーパー）を作成する。和文、英文の場合とも投稿要領に記載の執筆要領、体裁規則にしたがって作成する。
 - 5) 登載が認められた場合、6,000円の登載料を負担する。
3. 投稿要領の請求先および原稿提出の締切日

- 1) 投稿要領の請求・原稿提出先：土木学会事務局第11回風工学シンポジウム運営委員会（〒160 東京都新宿区四谷1丁目無番地、Tel. 03-355-3441 内線 161, Fax 03-355-3446, 担当 黛 巖）
- 2) 原稿提出締切日：1990年5月31日（木）午後3時必着。締切り後、作業日程上、ただちに査読作業に入るので遅延は一切認められない。原稿はオフセット印刷用原稿（B4版フルペーパー）のコピー（A4縮小版）を提出することを原則とする。

4. 査読・論文集刊行の日程

投稿要領に詳細に記されているが、日程の概略は以下の通りである。

- 1) 論文採否・査読意見の通知：1990年8月中旬
- 2) 修正後の最終印刷用オリジナル原稿の提出：1990年9月17日（月）
- 3) 論文集の刊行：1990年11月上旬

〔注意〕 今回から論文の応募方法が大幅に変わりましたのでご注意ください。

以上